



ハギ

ふたつし ニツ石ダム



▲盛夏の山美湖（やまびこ）



鳴瀬川水域は鳴瀬川及び田川、そして複数の小河川に依存していますが、いずれの河川も自流量に乏しいために恒常的な用水不足の状況にありました。

この課題を解消するため農林水産省がニツ石ダムを築造しました。昭和 59 年（1984 年）の調査開始以来、26 年の歳月と 493 億円の工事費を費やして平成 21 年（2009 年）に完成し、平成 22 年（2010 年）4 月から宮城県が管理を受託し、ダム管理を開始しています。

■ダムの目的

農業（かんがい）用水【A】

ダムから放流された農業用水は大崎市、東松島市、松島町、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の水田 9,736ha でかんがい利用されています。



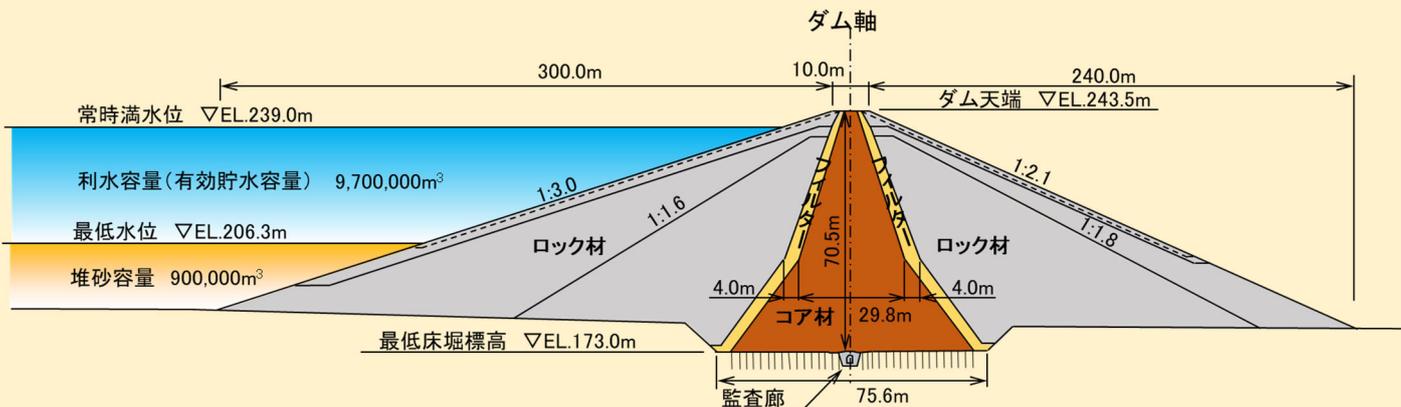
▲鳴瀬川地区事業概要図（ニツ石ダム補給エリア）

ダム諸元

河川名：一級河川鳴瀬川水系ニツ石川
 所在地：加美郡加美町宮崎字木戸口
 完 成：平成 21 年（2009 年）1 月
 形 式：中心遮水ゾーン型ロックフィルダム
 堤 高：70.5m
 堤頂長：439.0m
 堤体積：2,256千m³
 総貯水容量：10,600千m³
 有効貯水量：9,700千m³

コラム

利水ダムには元々洪水調節容量はありませんが、全国で多発している大雨洪水被害への対策として、令和 2 年度からダム下流の関係機関と「治水協定」を締結し、大雨洪水が予想される場合に利水容量を洪水調節容量として活用する取り組みが全国のダムで始まりました。



▲標準断面図